

飯岡地区集会施設の復旧予定は

30年度中の着工完成予定



議員 清貴 関
(政和会)

問 山田地区の被災した集会施設の復旧予定は。

佐藤町長 飯岡防災センターは、敷地造成完了を待ち、30年度中の着工完成予定。北浜防災センターは、候補地等の検討を進めていく。山田漁村センターは、まちなか交流センターができたことと周辺に居住がないことから復旧しない。

問 今後、新たに整備される集会施設の間取り等について地元自治会などと協議する考えは。

沼崎復興推進課長 相談しながら進めたい。

問 「心の復興」に対応するための支援策は。

町長 被災者が安定した



30年度完成予定の飯岡地区集会施設予定地

日常生活を営むことができるよう、健康支援活動や関係機関と連携した見守り活動、コミュニティづくり支援等を推進する。

三陸鉄道移管後の新駅設置は

将来に向けての検討課題

問 鉄道を生かした町づくりを進めるため、また利用され親しまれるための新駅設置の考えは。

町長 新駅については、可能性を否定するものではなく、将来に向けての検討課題。

問 利用者を増やし、住民に愛される鉄道とするため、新駅の設置は必要と考えるが。

復興推進課長 多額の費用が掛かることから、利用者の推移等を見て考えたい。

小中学校に洋式トイレの増を

必要に応じて対応

問 町内小中学校の洋式トイレを増やす計画は。

佐々木教育長 洋式トイレは全ての小中学校に設置済みであり、増設の計画はないが、必要に応じて対応する。

問 細浦柳沢線の整備に

伴い、大浦地区等から県北バスを利用している生徒の利便性を考慮し、乗降場所について県北バスと協議してはどうか。

教育長 乗降場所の変更に向け、県北バスや学校等と協議している。

その他の質問

- ◆長崎地区に信号機、横断歩道を設置する考えは
- ◆被災事業者のうち本設希望と廃業予定の業者数は
- ◆学校給食センターの検討委員会等の発足時期は